

柳井市教育委員会会議 会議録

1 会議の開催

(1) 日 時 令和6年9月12日(木) 開会 午後3時00分
閉会 午後4時12分

(2) 場 所 柳井市役所 4階402会議室

2 出席委員

教育長	西元 良治
教育長職務代理者	厚坊 俊己
委 員	横山 志磨
委 員	瀬山真紀子
委 員	綿貫 良子

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

教育部長	藤村 英明
教育部次長（図書館担当）	三浦 美雪
教育総務課長	室田 和範
学校教育課長	河井 悟
生涯学習・スポーツ推進課長	有道 茂一
文化財室長	大岡 弘明
学校給食センター所長	下前 真一
教育総務課長補佐（書記）	應 湧 雄一

5 傍聽者

なし

6 會議日程

(1) 議案

①議案第21号 市長からの意見聴取について（令和6年度9月補正予算）

②報告第18号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

(2) その他

7 議事の大要

(1) 開会

教育長から、教育委員会会議の開会の宣言があった。

(午後3時00分 開会)

(2) 會議錄署名委員指名

教育長から、会議規則第13条の規定に基づき、厚坊委員、瀬山委員の両

名を指名した。

(3) 議事内容

①議案第21号 市長からの意見聴取について（令和6年度9月補正予算）

教育長は事務局に説明を求め、有道課長、室田課長、大岡室長及び下前所長から一般会計予算9月補正について以下のとおり説明があった。

- ・弓道場整備事業の繰越明許費補正は、弓道関係者との協議に時間を要したため弓道場の基本設計及び実施設計が、本年8月末に完了した。既存施設であるセミナーハウスの解体工事後、令和7年1月に弓道場の建設工事に着手し、工期は令和7年9月末までを予定しており、繰越明許補正を行う。
- ・スクールバス運転業務委託料の債務負担行為補正は、来年度4月からの小・中学校4校の計10台のスクールバスに係る令和7年度から令和9年度までの3年間分運転業務に関するものを計上した。
- ・歳出の教育総務費・事務局費について、役務費の通信運搬費は、教育委員会事務局移転に際し、新設する電話機の通話料と光回線利用料の増額、委託料の清掃業務委託料は、週3日の床とトイレの清掃委託費用の増額、使用料及び賃借料のOA機器使用料は、複合機プリンタと行政FAXのリース料の増額、工事請負費の施設改修工事費は、書棚撤去後の壁の造作、通話及びネットワーク回線の配線と設定、部材経費の増加等による増額、備品購入費の器具費は、学校の草刈営繕用として刈払機等を購入する費用の増額を計上した。
- ・小学校費について、委託料のサーバー等保守委託料は、教員用のパソコン更新におけるオフィス系アプリの導入方式の変更に伴う費用を増額計上した。
- ・中学校費について、需用費の施設修繕料は、各中学校施設の修繕料の増額、委託料の植栽管理業務委託料は、大畠中西側の桜のテングス病が大きく雑木と併せ伐採する費用の増額、委託料のサーバー等保守委託料は、パソコン更新におけるオフィス系アプリ導入の形式変更による減額を計上した。
- ・社会教育費の文化財保護費について、主に阿月公民館整備事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の克己堂後の発掘調査に係る報告書作成に係る作業員雇用と機材整備を行うため、報酬の発掘調査員報酬、共済費の労働者災害補償保険料、旅費、需用費の消耗品費等、役務費のソフトウェア更新手数料、備品購入費のパソコン購入費を増額し計上した。また、負担金補助及び交付金は、伝統的建造物保存地区内の緊急修理の補助金等を増額計上した。
- ・阿月公民館整備費について工事請負費の公民館整備工事費は、資材費の高騰や労務単価の上昇に加え、側溝工事、境界縁石工事及び整地工事等の追加により増額計上した。
- ・保健体育費の給食センター運営費について、企業版ふるさと納税充当額

増に伴い財源振替を行った。

・体育施設費について、委託料の産業廃棄物処理委託料は、現在行っている体育館改修事業に伴い、照明器具の安定器等にPCBが含まれていることが判明したことによる運搬及び処理に要する費用の増額、使用料及び賃借料は、工事発注に必要な積算システムのライセンス料を増額計上した。

主な質疑応答は以下のとおり。

厚坊委員：弓道場について、既存のものと広さはどうか。弓道連盟からの要望は聞いているか。また、エアコンの設置はあるか。

有道課長：射場の奥行きを広くする。弓道連盟とはしっかり協議をしている。エアコンについては、役員室に設置し、共用する武道場については協議中。

厚坊委員：中学校の修繕料について、柳井中学校の玄関の壁が雨垂れ等で汚れが目立ってきた。すぐに塗替えというわけにはいかないが、参考まで。

室田課長：現地を確認して対応したい。

厚坊委員：教育委員会事務局が、旧図書館に移転するがしらかべ学遊館の職員はどうなるか。

室田課長：そのまま残る予定。

この他に質疑等はなく、各委員とも異議なしということで、原案どおり承認された。

②報告第18号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

教育長は事務局に説明を求め、河井課長から、本調査は、令和6年4月18日に実施し、調査結果の公表は、調査の目的や調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であること、国や県の平均正答率との比較により、序列化や過度の競争をあおるものではないことを考慮して行う。

調査結果の概要は、教科に関する調査の結果になり、平均正答率は、柳井市全体として、小学校は、国語・算数ともに全国平均を上回り、中学校は、国語は全国平均と同程度、数学は全国平均を上回る結果となった。

小学校国語では、特に成果がみられたのが「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」で、特に課題の見られる点としては、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと」が挙げらる。

小学校算数では、特に成果がみられたのが「直方体の見取図について理解し、かくこと」で、特に課題の見られる点としては、「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」が挙げられる。

中学校国語では、特に成果がみられたのが「行書の特徴を理解すること」で、特に課題の見られる点としては、「目的に応じえ必要な情報に着

目して要約すること」が挙げられる。

中学校数学では、特に成果がみられたのが「問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をすること」で、特に課題の見られる点としては、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に証明すること」が挙げられる。

続いて、児童生徒質問紙の結果のうち、「愛、夢、志をはぐくむ教育」と関連性が高い項目の結果について、「将来の夢や目標をもっている」は、小学校では、当てはまる・どちらかといえば当てはまると肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて多く、望ましい状況がみられたが、中学校においては、肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて少なく、今後さらに伸ばしていきたい結果となっている。

次に、基本的な生活習慣や家庭学習をはじめ、家庭との関連性が高い項目の結果について、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強する」は、小学校・中学校ともに、肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて少なく、今後さらに伸ばしていきたい結果となっている。

次に、児童生徒の地域や社会への関心と関連性が高い項目の結果について、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」は、小学校・中学校ともに、肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて多く、望ましい状況がみられた。これは本市が推進している「スクール・コミュニティ」による教育のまちづくりの成果の表れであり、今後も地域や社会へ参画する姿勢の醸成にさらに努めていきたい。

最後に、アクティブ・ラーニングのある授業と関連性が高い項目の結果について、「授業においてICT機器を積極的に活用する」は、小学校では、ほぼ毎日・週3回以上と回答している割合が全国の結果と比べて多く、望ましい状況がみられたが、中学校では、その割合が全国の結果と比べて少なく、今後さらに伸ばしていきたい結果となっている。また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」は、小学校では、肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて多く、望ましい状況がみられたが、中学校では、全国の結果と比べて同程度となっていた。

今後の取組については、現在柳井市では、子どもが主体となって学ぶことができるアクティブ・ラーニングのある授業づくりを推進しているが、昨年度より特に重点を置いている、授業で何が分かったのか、どんなことを学んだのか等、自己の成長を自覚できる「振り返り」のある授業づくりを引き続き進めていきたい。

また、ICT活用については、授業での活用と合わせて持ち帰りについても各校で着実に充実してきているが、今後はデジタル教科書やAIドリル等を活用した授業改善や家庭学習の充実につなげる、より効果的なICT機器の活用を、YIP（柳井市ICT活用推進プロジェクトチーム）を

中心に研究していく必要があり、引き続き各学校と連携し確かな学力の定着と学ぶ喜びが味わえる教育活動の充実に努めるとの説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり。

綿貫委員：日積小に研修に行ったが、文書にラインを引く取組を行っていた。非常に良い取組で、振り返りにもなり着実に身に付く。

瀬山委員：小学校の算数のポイントが高いの嬉しい。メキメキタイムが始まり、なぎの会もマル付けをしたり応援している。漢字に課題がみられるとのことだが、漢字についてもボランティアで手伝えることがあれば応援したい。

横山委員：生活習慣や学習環境等に関するグラフの中で、中学校の肯定的な回答が、全国や山口県と比べて低くなっている項目がいくつかあるが、自己肯定感が低いということではなく、中学生にもなると現実が分かるというか、冷静に物事を考えることができるようになった結果で、あまり心配なところではない。先日柳井中学校の運動会を見学したが、運動会に限らず、先生の指示を仰ぐのではなく、生徒たちが主体的に行動できていたので感心した。運動会で開会の挨拶をした生徒が、その後で先生に声が小さかったか聞いていたが、先生がとても良かったと褒めていた。それを見て先生と生徒の雰囲気良く、とても好ましく感じた。

厚坊委員：平均正答率は、柳井市は良い。その中で、できる子が良くなったのか、できない子が頑張ったのか、そのあたりの分析も必要。理解が遅い子に手を差し伸べて正答率が平均的に上がっていくと良い。正答率を上げようと思えば、できる子に教えて、良い点を取らせれば平均が上がってくるが、本来的には、できない子を支援していかなければいけない。漢字もそうだが、基礎基本を身につける、そのあたりも分析して学校に伝えて欲しい。

河井課長：今年度の重点事項の中に、基礎基本の確実な習得に向けた指導を掲げている、皆様のご意見を踏まえて学校と連携して取り組んでいきたい。

教育長：学校教育課の指導主事も毎日学校に入って、先生と一緒に学力向上に取り組んでいる。地域の方も学校に入って学校の先生と一緒に頑張って取り組んでいる。皆が将来の柳井を担っていく子ども達を育てていく気持ちで一緒になって取り組んできた成果が表れ始め、成績が上向いている手応えを感じており、特に中学校の数学は、ここ最近にないプラスの方に来ている。今、特定教科教化事業に取り組んでおり、算数、数学に力を入れている。昨年度から取り組み始めたものが来年度成果としてどう表れてくるか、学校教育課も一生懸命取り組んでいるのでよろしく願いたい。

(4) 協議会

教育長から、暫時、協議会とする宣言があった。

(午後3時34分 協議会)

(午後4時11分 再開)

(5) 閉会

教育長から、教育委員会会議の閉会の宣言があった。

(午後4時12分 閉会)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長	西元良治
-----	------

署名委員	厚坊俊己
------	------

署名委員	瀬山真紀子
------	-------

調整者	室田和範
-----	------